

# 目次

- Things Cloud の利用** ..... 3
  - 事前準備** ..... 3
  - ファームウェア更新** ..... 3
  - 接続情報の設定** ..... 3
  - Thinga Cloud ヘドバイス登録** ..... 4
  - 登録情報の確認** ..... 6



# Things Cloud の利用

Things Cloud はNTTコミュニケーションズが提供するセンサー/デバイス接続からデータ収集、可視化、分析、管理などIoTの導入に必要な機能を実現できるApplication Enablement Platformです。

## 事前準備

接続にはThings Cloud のアカウントが必要です。

## ファームウェア更新

Things Cloud との接続を行うエージェントを搭載したファームウェアをMA-E300シリーズに設定します。

| File  | Stat                           | SHA1SUM                                  | Note |
|---|--------------------------------|--|------|
| <a href="#">mae3xx_trusty_thingscloud_v2_8_4rc2.img</a> | 2018/06/06<br>13:39 81.7<br>MB | ccd20ce35b80498513f71f4d249a7913a1022a31 |      |



## 接続情報の設定

ファームウェア更新後 WebUI の「Things Cloud設定」を行います。設定するとエージェントが再起動し接続を開始します。



- インターフェース
- 通信モジュール
- PPPoE
- フィルタ
- バーチャルサーバ
- シリアル変換
- DHCP
- NTP
- WarpLink
- ThingsCloud**
- シスログ
- ファームアップデート
- 設定データ管理
- 停止・再起動
- 日付・時刻
- 本装置設定

Things Cloud 設定

接続設定

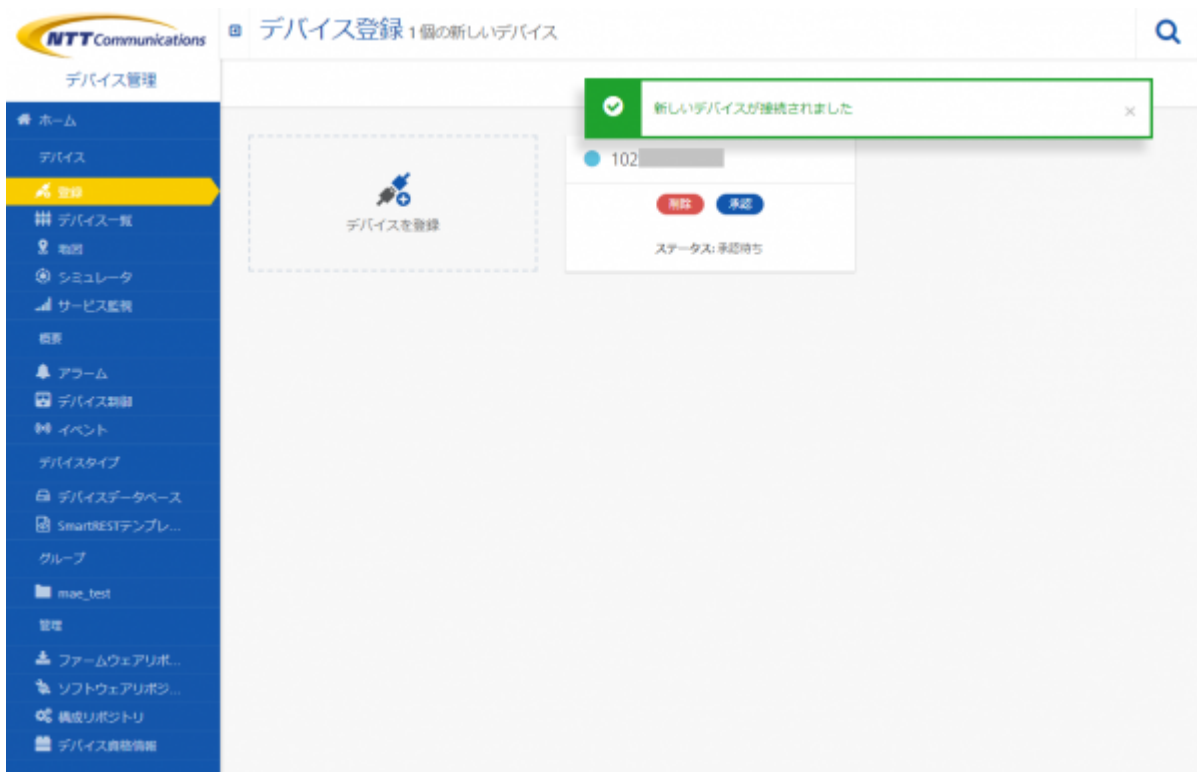
|       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| URL   | <input type="text" value="URLを入力"/>   |
| デバイス名 | <input type="text" value="MA-E300"/>  |
| ユーザID | <input type="text" value="ユーザIDを入力"/> |
| パスワード | <input type="text" value="パスワードを入力"/> |

## Thinga Cloud へデバイス登録

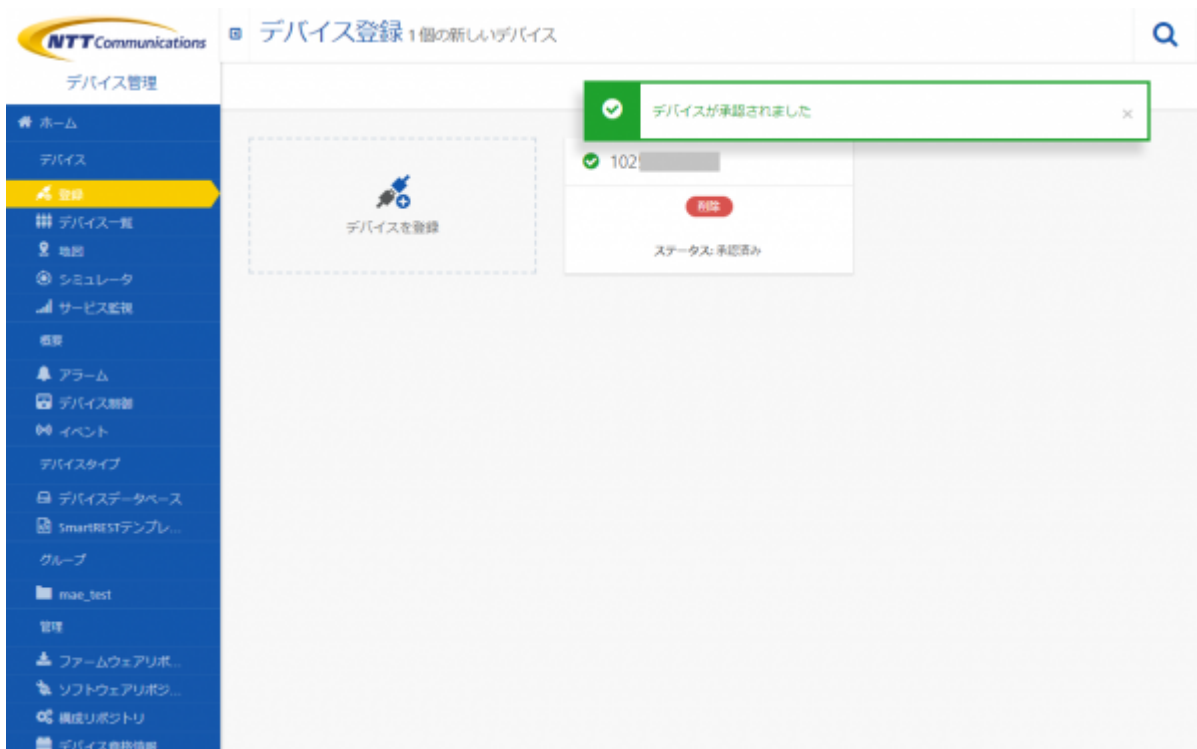
Things Cloud のページをWebブラウザで開き、「デバイス登録」ページに移動します。デバイスIDに MA-E300 の底面に記載してあるシリアルNo.を入力し登録します。



デバイス登録後 MA-E300 からの接続があると承認ボタンが表示されます。



承認ボタンをを押すとMA-E300が Things Cloud に登録されます。

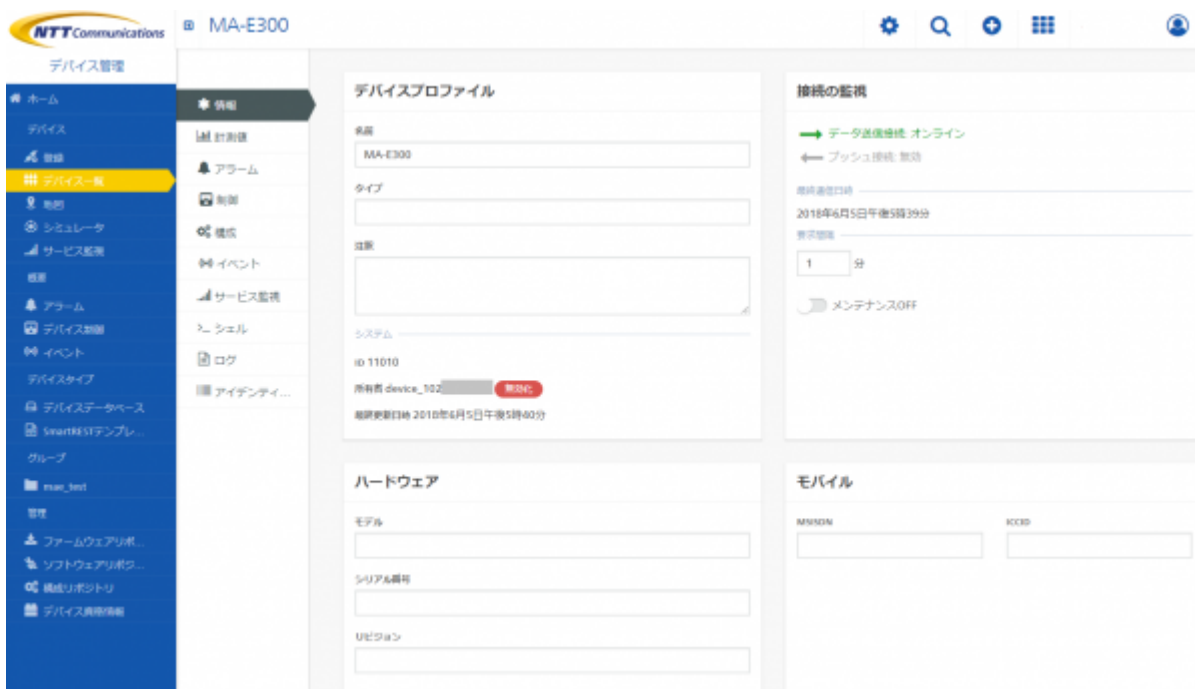


## 登録情報の確認

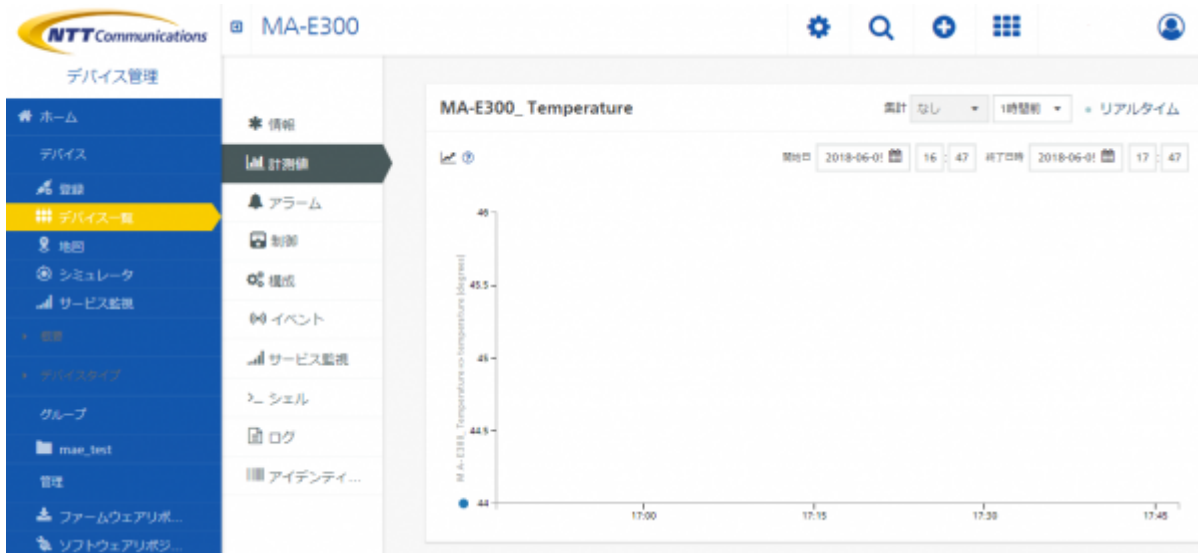
「デバイス一覧」ページへ移動するとMA-E300のWebUIで設定したデバイス名のデバイス表示されます。



デバイス名を押すと登録情報が表示されます。



ThingsCloud への登録が完了するとMA-E300はオンボード温度センサーの情報を定期的にアップロードします。  
アップロードした温度情報は「計測値」タブを選択すると確認できます。



各種センサー対応のThings CloudからMA-E300の制御など  
要望に応じて機能追加が可能です。

From:

<https://wiki.centurysys.jp/> - MA-X/MA-S/MA-E/IP-K Developers' Wiki

Permanent link:

[https://wiki.centurysys.jp/doku.php?id=mae3xx\\_tips:thingscloud:start](https://wiki.centurysys.jp/doku.php?id=mae3xx_tips:thingscloud:start)

Last update: **2018/06/06 13:41**

